

「59.2ダイ改」「動乗勤」改悪阻止を確認



動労千葉

83. 11. 18

No. 1496

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六）（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

乗務員分科第6回定期委員会開催

西森会長を先頭とする新執行体制を確立



動労千葉・乗務員分科第六回定期委員会は、十一月十日・十一日の両日にわたって御宿・外房荘で開催されました。
委員会は、現在運転職場にかけられている「59・2ダイ改」「動乗勤制度改悪」さらには「職場規律の確立」を口実としたさまざまな攻撃と対決し、新たに選出された西森会長を先頭とした新執行体制のもと、全会員一丸となって闘い抜く方針を確立し、成功裡のうちに終了しました。



中野委員長が昇給協定改悪の反動的狙いを暴露

会議は、高橋執行委員の開会あいさつにつづいて、議長には足立（津田沼）委員が選出され、スローガン案提起につづき、山口会長からあいさつを受けました。山口会長は、「国鉄労働運動破壊攻撃が本格化するなかで、動労千葉の国鉄・三里塚を基軸にすえた反合闘争の路線に基づき、当面する『59・2ダイ改』阻止、内達一号をはじめとする『動乗勤制度改悪』粉碎のために、乗務員分科会は総決起し、断固として闘い抜こう」と決意を明らかにしました。また、本部中野委員長より、昇給協定案をめぐる当局の最大の狙いは、組合員の差別・分断を意図した組織破壊攻撃であることが明らかにされ、組合員の利益を守るために断固闘い抜く決意と、仲裁裁定問題等々に対する当面の情勢が述べられ、反動中曾根と対決する政治闘争の重要性と年内予想される衆議院の総選挙に勝利しようとのあいさつを受けました。

経過、方針で活発な討論を展開

議事は、大岩副会長、渡辺執行委員から経過報告が提案された後、会計報告、会計監査報告を受けて、質疑・討論に入りました。

- ① 木原線問題に対する情勢について
- ② 京葉線の見直しと取り組みについて
- ③ 59・2ダイ改の問題点
- ④ 線路状態が最近悪化しているが、その取り組みについて
- ⑤ 踏切改善が計画より遅れている
- ⑥ 高令者対策について

等々の多くの意見が出され、本部布施書記長から答弁がなされた後、満場一致で承認されました。山口会長から分科会の組織強化と職場闘争を中



心とする八三年度運動方針案、安田事務長より予算案が提案された後、質疑が各支部委員から出され、本部中野委員長の答弁を含め活発な熱心な討論が展開され、八三年度の闘う運動方針を満場一致で確立しました。
最後に、新執行体制を選出し、西森新会長の団結ガンバローで委員会を成功裡に終了しました。

一九八三年度新執行体制は次のとおりです。

会長	西森 巖	千葉転
副会長	大岩 定雄	新小岩
事務長	安田 庄一	千葉転
執行委員	向後 正三	成田
“	高橋 邦彦	津田沼
“	渡辺 和志男	勝浦
“	安西 信一	館山
“	萱野 昌美	佐館
会計監査員	上野 孝治	銚子
“	阿津 栄作	幕張